

触媒としてのセキュリティ コンテスト

～ SECCONの現在までの取組とこれからの展望

竹迫 良範 (SECCON実行委員長 / サイボウズ・ラボ)

寺島 崇幸 a.k.a. tessy (AVTokyo/sutegoma2)

宮本 久仁男 (NTTデータ / 情報セキュリティ大学院大学)

坂井 弘亮

ハッカー vs. クラッカー

■悪いハッカー

- インターネット経由で機密情報を盗む人？
- テロリスト？（ハリウッド映画の影響？）
- 高度な技術力を駆使してコンピュータシステムに不正侵入する人？
- 不正アクセス行為をして逮捕される人？

■良いハッカー

- ホワイトハッカー？
- 善玉ハッカー？ 正義のハッカー？

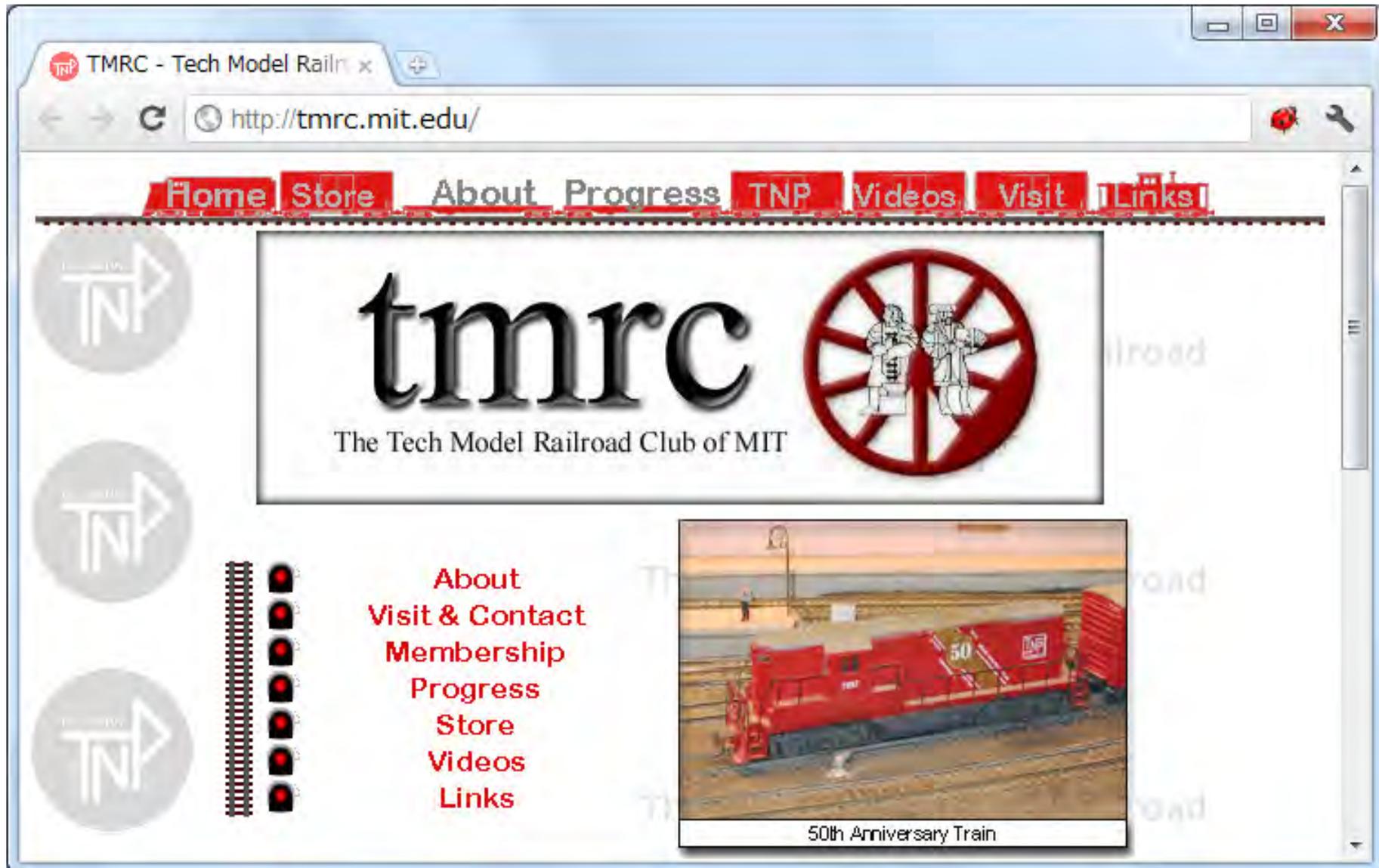
世界で一番有名な日本人ハッカー？



ハッカーとは

- コンピュータについて
 - 常人より深い技術的知識を持ち
- その知識を利用して
 - 技術的な課題に対して
 - 最小限の手間で
 - 最大の効果を生み出す人々

ハッカーの誕生場所



日本の若手セキュリティ人材



NPO 日本ネットワークセキュリティ協会

■ HOME

■ JNSAについて

■ 活動内容

■ イベント

▾ U40部会

若年層を対象メンバーとして、JNSAの若返り、若年層の活動活発化、幅広
う。

日本のセキュリティコンテスト

大会名	主催者	参加対象	競技形式	
セキュリティキャンプ	セキュリティキャンプ実施協議会 (IPA)	22歳以下の学生	問題回答型	研修の1パートとして実施
SECCON CTF	SECCON 実行委員会 (JNSA)	学生もしくは22歳以下	問題回答型	日本で初めての本格的なCTF大会
危機管理コンテスト	情報危機管理コンテスト運営委員会	博士後期課程を除く学生	トラブル対応型	白浜シンポジウムの一部として実施
IT Keys	IT Keys運営委員会	特定大学の学生	演習科目	京大、阪大、北陸先端、奈良先端の4大学を中心とした育成プログラムの一部
MWS Cup	MWS実行委員会	情報処理学会加入メンバー	問題回答型 (マルウェア解析)	情報処理学会主催のイベントの一部
Hardening Zero	Hardening Zero 実行委員会	制約なし	攻防型 (防御のみ)	
CTFチャレンジ ジャパン 2012	経済産業省 (2012年度委託事業)	社会人 (23歳以上の学生可)	フラッグ取得型 問題回答型	

海外での取組み事例 (米国)

- DEFCON: 年1回 ラスベガス
 - 世界各国から予選を通過した20チームが参加
 - 2012年の優勝チームは80人体制(会場に入れるのは8人)
 - 2012年が20回目の開催
 - セキュリティ技術者の発掘の場として注目
- NetWars: 年数回 ワシントンDC、ラスベガス他
 - SANSTレーニングの一環として、1500人規模のイベントに併設で開催
 - 1回の参加人数は200人程度で世界最大級
- US CyberChallenge
 - 学生向けの人材発掘目的
 - 優秀者はインターンシップや奨学金が授与される(マイクロソフトなどがスポンサー)
- そのほか8つ程度のCTF大会が継続開催されており、地区大会・州大会も無数に存在



DEFCON終了後の意見交換



NetWarsの実施風景

CTF (Capture The Flag)

- グループ対抗の旗取り合戦
 - もともとは欧米の子供の遊び
- 仮想サーバーに「旗を立てる」
 - 「旗を立てさせない」攻防戦
- 日本語で言うと「サイバー騎馬戦」!?

防御・解析と攻撃技術
の両方を学ぶ
実践的な場



2012年度のCTF開催実績（日本国内）

■ SECCON CTF（日本ネットワークセキュリティ協会）

■ 参加チーム：38（160人）※学生あるいは22歳以下

- 九州大会：2012年2月 7チーム
- 関東大会：2012年5月 13チーム
- 関西大会：2012年11月 5チーム
- 横浜大会：2012年12月 13チーム

■ 全国大会：2013年2月 地方大会の上位10チームを招待

■ CTFチャレンジジャパン2012（経済産業省委託事業）

■ 参加チーム：46（166人）※社会人および23歳以上の学生

- 福岡予選会：2012年11月 11チーム
- 大阪予選会：2012年11月 6チーム
- 東京予選会：2012年12月 22チーム
- 仙台予選会：2012年12月 9チーム

■ 決勝大会：2013年2月 予選会の上位9チームを招待

SECCON CTF 参加校 (2012年度)

■ 大学院(7校):

岡山大学大学院
慶應義塾大学大学院
情報セキュリティ大学院大学
奈良先端科学技術大学院大学
名古屋大学大学院
筑波大学大学院
東北大学大学院

■ 大学(16校):

会津大学
東北大学
福岡大学
法政大学
香川大学
九州工業大学
京都大学
慶應義塾大学
信州大学
筑波大学
電気通信大学
東京工科大学
東京電機大学
名古屋大学
大阪大学
明治大学

■ 専門学校(5校):

HAL東京
日本工学院八王子専門学校
国立東京工業高等専門学校
情報科学専門学校
船橋情報ビジネス専門学校

■ 高等専門学校(3校):

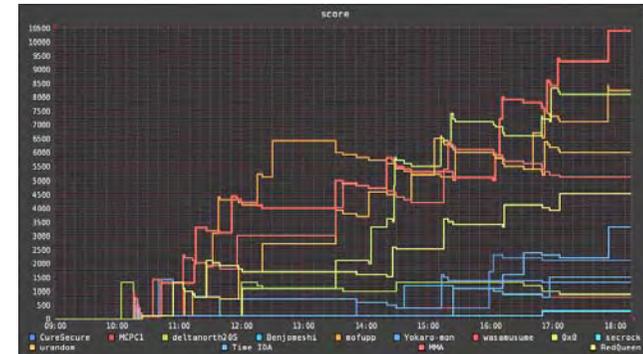
東京高等専門学校
熊本高等専門学校
沼津工業高等専門学校

■ 高校(10校):

小山工業高等学校
千葉県立京葉工業高校
愛媛県私立愛光高校
愛知県立五条高等学校
筑波大学附属駒場高等学校
灘高校
山形県立長井高等学校
新潟高等学校
海城高校
群馬県立高崎工業高校

■ 中学(1校):

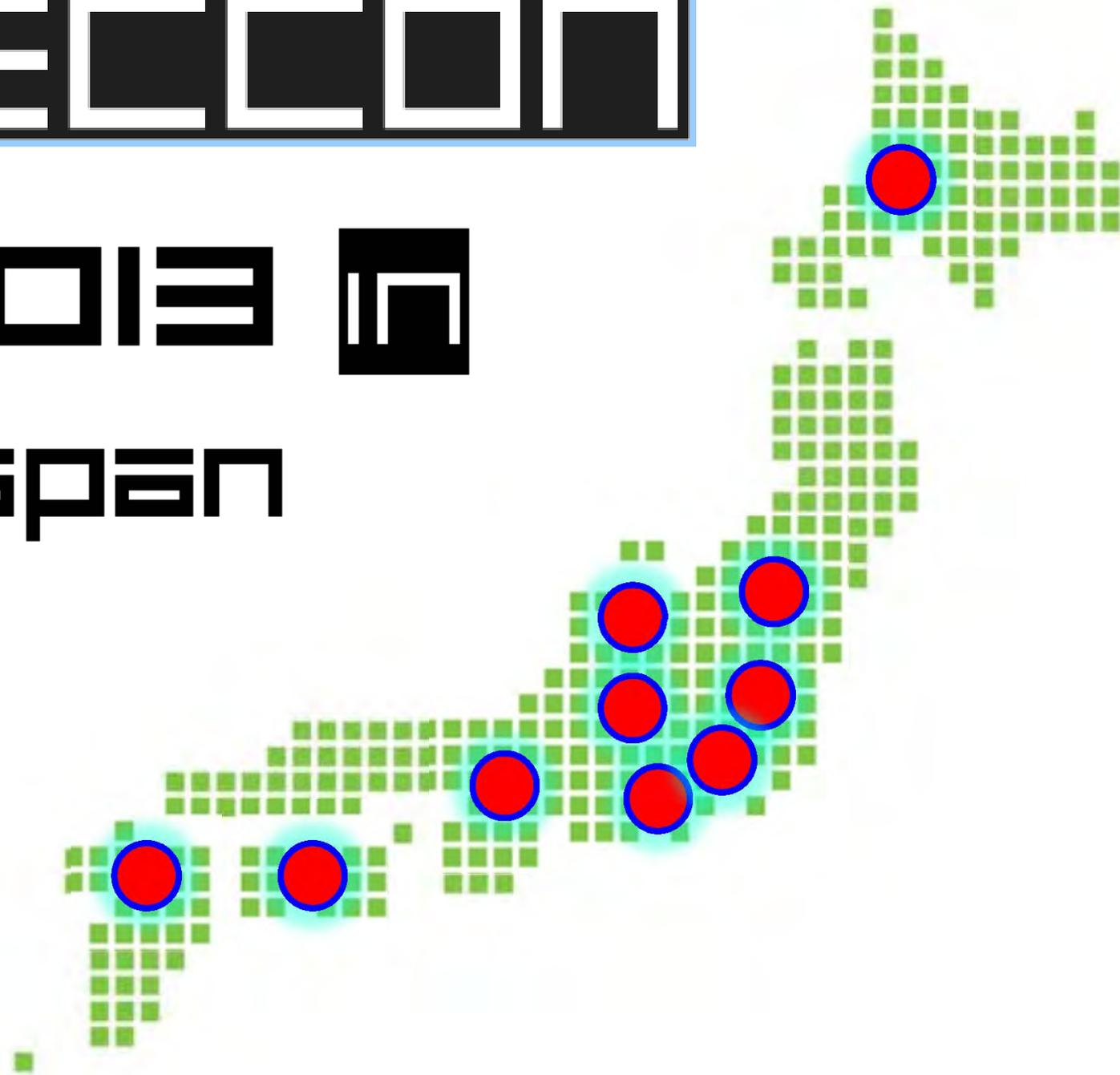
灘中学



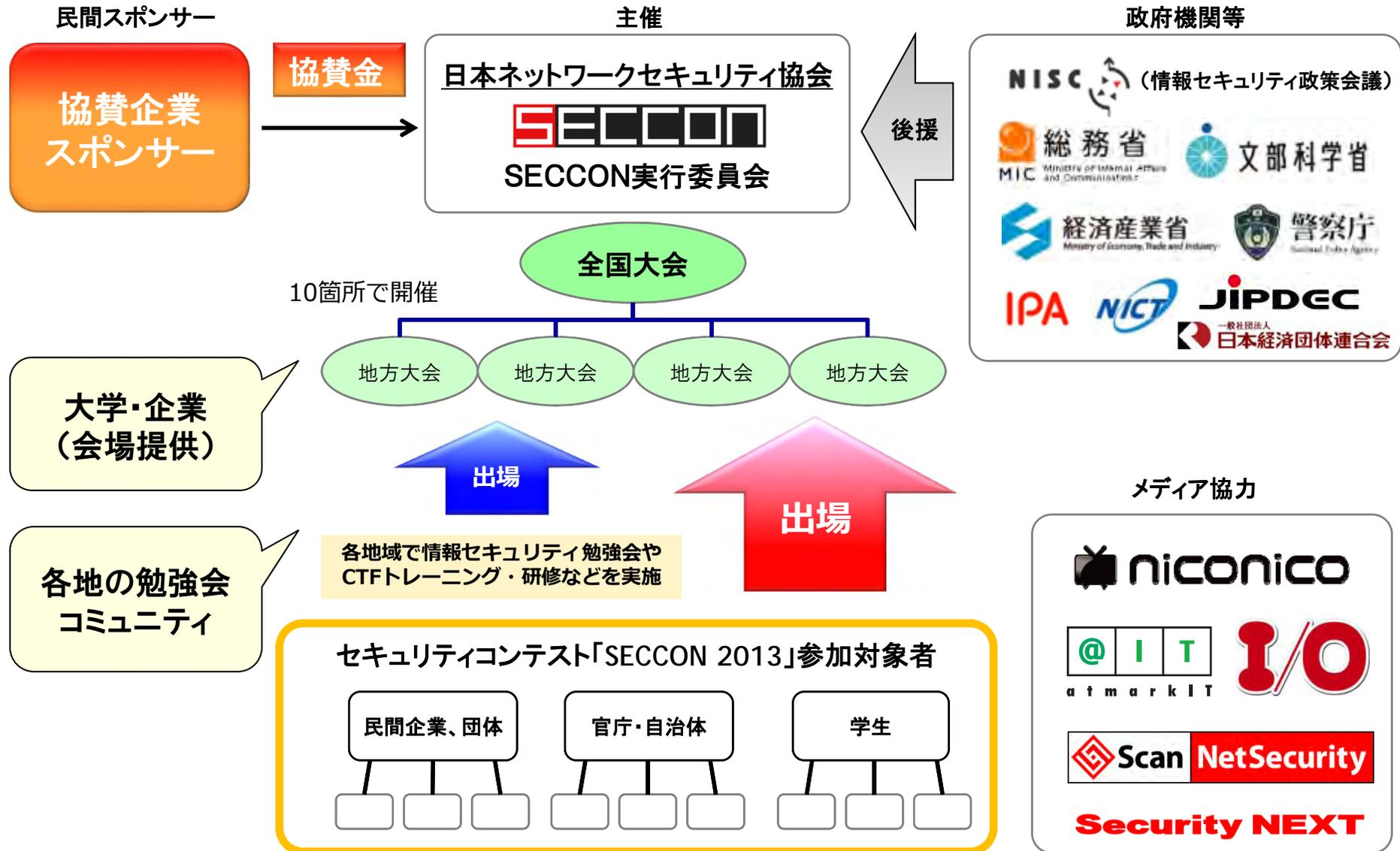
S E C C O N

2013

JAPAN



SECCON 2013 実施図



SECCON 2013 開催スケジュール

回数	日程	開催地域	会場
1	8月22日～23日	関東（横浜）	パシフィコ横浜（CEDEC 2013）
2	10月5日～6日	甲信越（長野）	信州大学工学部
3	10月5日～6日	九州（福岡）	九州工業大学情報工学部
4	10月20日	四国（香川）	香川大学総合情報センター
5	11月9日～10日	東北（福島）	会津藩校 日新館
6	11月30日～12月1日	北海道（札幌）	札幌市
7	11月30日～12月1日	北陸（富山）	インテックビル「タワー111」
8	12月14日～15日	東海（名古屋）	ウイंकあいち
9	12月14日～15日	関西（大阪）	マイドームおおさか
10	1月25日～26日	オンライン予選	情報セキュリティ大学院大学
11	3月1日～2日	全国大会	東京電機大学

SECCON 2013 協賛企業



CTF以外の様々なコンテストも併催

- サイボウズSecurity Challenge (賞金300万円)
- Wireshark パケット・コンテスト
- Shellcoder's Challenge
- アセンブラ短歌 (5・7・5・7・7機械語)



SQLインジェクションチャレンジ

■体験サーバの提供



SQL Injection Challenge!

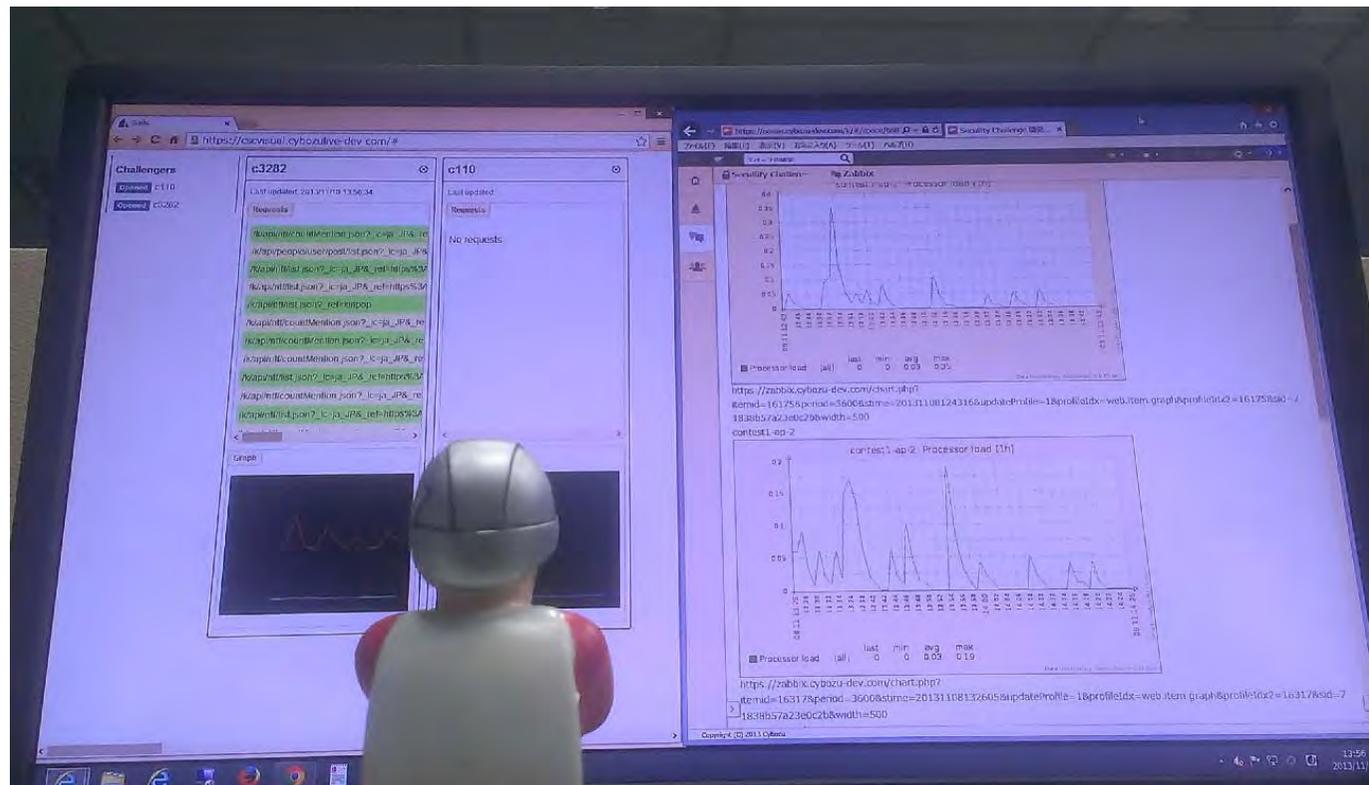
IDを入力すると登録情報が表示されます。

SQLインジェクションを使って自分以外の人の登録情報も表示させてください!
(100件以上同時に表示できたらクリアです)

ID	名前	性別	電話番号	住所
1000000	香川信次	男	01891633163	秋田県 能代市 下悪戸 4-20-10

Cybozu.com Security Challenge

■賞金総額 300万円の脆弱性発見大会



Security Challenge の攻撃者をリアルタイム監視してみた
<http://developer.cybozu.co.jp/tech/?p=6397>

ご報告いただいた脆弱性情報 20件

■ 申込人数 95 名 / 参加人数 75 名



SECCON 攻防戦の可視化 (協力:NICT)



セキュリティ早押しクイズ

- セキュリティやゲームやインターネットに関する問題を早押しで解答する競技



アセンブラかるた (x86)

- アセンブラの命令が読み上げられたら、その機械語命令に対応する16進数の札を早く取る競技



x86 アセンブラ暗記表 (@a4lg)

insr.	x0	x1	x2	x3	x4	x5	x6	x7	x8	x9	xA	xB	xC	xD	xE	xF	
0x	ADD (byte word) reg/mem ← reg		ADD (byte word) reg/mem → reg		ADD (byte word) AL eAX ← imm		PUSH ES SS	POP ES SS	OR (byte word) reg/mem ← reg		OR (byte word) reg/mem → reg		OR (byte word) AL eAX ← imm		PUSH CS DS		⊕ OF xx →
1x	ADC (byte word) reg/mem ← reg		ADC (byte word) reg/mem → reg		ADC (byte word) AL eAX ← imm				SBB (byte word) reg/mem ← reg		SBB (byte word) reg/mem → reg		SBB (byte word) AL eAX ← imm				POP DS
2x	AND (byte word) reg/mem ← reg		AND (byte word) reg/mem → reg		AND (byte word) AL eAX ← imm		seg.ES Prefix	DAA ⊕	SUB (byte word) reg/mem ← reg		SUB (byte word) reg/mem → reg		SUB (byte word) AL eAX ← imm		seg.CS Prefix	DAS ⊕	
3x	XOR (byte word) reg/mem ← reg		XOR (byte word) reg/mem → reg		XOR (byte word) AL eAX ← imm		seg.SS Prefix	AAA ⊕	CMP (byte word) reg/mem ← reg		CMP (byte word) reg/mem → reg		CMP (byte word) AL eAX ← imm		seg.DS Prefix	AAS ⊕	
4x	INC (word) eAX eCX eDX eBX eSP eBP eSI eDI								DEC (word) eAX eCX eDX eBX eSP eBP eSI eDI								
5x	PUSH (word) eAX eCX eDX eBX eSP eBP eSI eDI								POP (word) eAX eCX eDX eBX eSP eBP eSI eDI								
6x	PUSHA eAX → eDI	POPA eDI → eAX	BOUND ⊕	ARPL ⊕	seg.FS Prefix	seg.GS Prefix	o.size Prefix	o.addr Prefix	PUSH imm	IMUL (w) r/m+imm8	PUSH imm8	IMUL (w) r/m+imm8	INSB INS byte word [eDI] ← DX	OUTSB OUTS byte word [eSI] → DX			
7x	0	NO	B/NAE/C	NB/AE/NC	Z/E	NZ/NE	BE/NA	NBE/A	JCC (short) S NS		P/PE	NP/PO	L/NGE	NL/GE	LE/NG	NLE/G	
8x	Immediate Group 1 r/m ← imm8 imm			TEST (byte word) reg/mem ↔ reg		XCHG (byte word) reg/mem ↔ reg		MOV (byte word) reg/mem ← reg		MOV (byte word) reg/mem → reg		MOV (16) r/m ← sreg	LEA reg ← mem	MOV (16) r/m → sreg	Grp.1A Insr. Group		
9x	eAX (NOP)	eCX	XCHG eAX, reg (word) eBX eSP eBP eSI eDI		CBW or CWDE	CWD or CDQ	CALL far	FWAIT or WAIT	PUSHF eFLAGS	POPF eFLAGS	SAHF AH ↔ eFLAGS	LAHF eFLAGS					
Ax	MOV (byte word) AL eAX → ptr[imm]	MOV (byte word) AL eAX → ptr[imm]	MOVSB MOVSD byte word [eDI] ← [eSI]	CMPSB CMPSD byte word [eSI] ← [eDI]	TEST (byte word) AL eAX ↔ imm		STOSB STOSD byte[word[eDI]] ← AL[eAX]	LODSB LODSD byte[word[eSI]] → AL[eAX]	SCASB SCASD AL[eAX] ← byte[word[eDI]]								
Bx	MOV (byte) AL CL DL BL AH CH DH BH ← imm								MOV (word) eAX eCX eDX eBX eSP eBP eSI eDI ← imm								
Cx	Shift Grp.2 byte word ← imm8		RET (near) imm16 0		LES ⊕	LDS ⊕	Grp.11 (MOV) byte word ← imm		ENTER ⊕	LEAVE	RET (far) 0 imm16		INT 3 (#BP) imm8		INTO	IRET	
Dx	Shift Grp.2 byte word ← 1		Shift Grp.2 byte word ← CL		AAM ⊕	AAD ⊕	SALC Undoc.	XLAT or XLATB	FPU Instructions 8087 Instruction Group								
Ex	LOOPNE LOOPE short jump	LOOP short jump	JeCXZ		IN (imm8: byte word) reg/mem ← I/O		OUT (imm8: byte word) reg/mem → I/O		CALL near	JMP near short		IN (DX: byte word) reg/mem ← I/O		OUT (DX: byte word) reg/mem → I/O			
Fx	LOCK Prefix	ICEBP Undoc.	REPNE Prefix	REPE or REP	HLT	CMC	Unary Grp.3 (b w) r/m = ⊕ (reg/mem)		CLC eFLAGS.CF ← 0 1	STC	CLI eFLAGS.IF ← 0 1	STI	CLD eFLAGS.DF ← 0 1	STD	Grp.4 INC/DEC	Grp.5 INC/DEC/...	

アセンブラ・クロスワードパズル(x86)

[Down]

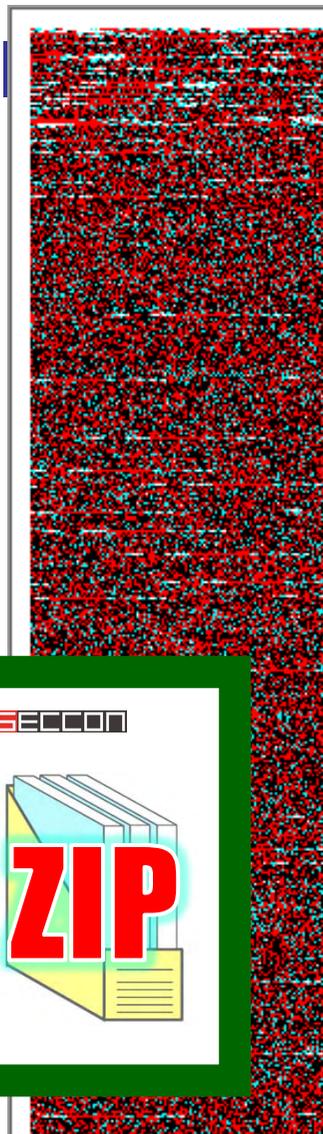
- 1: `mov EAX, EIP`
- 2: `EAX = EAX * 3`
- 3: `call [ESP+4]`

[Across]

- 2: `NOP (4 bytes)`
- 3: `push [ESP+4]`
- 4: `mov [EAX], EAX`
- 5: `return 1; //32bit`

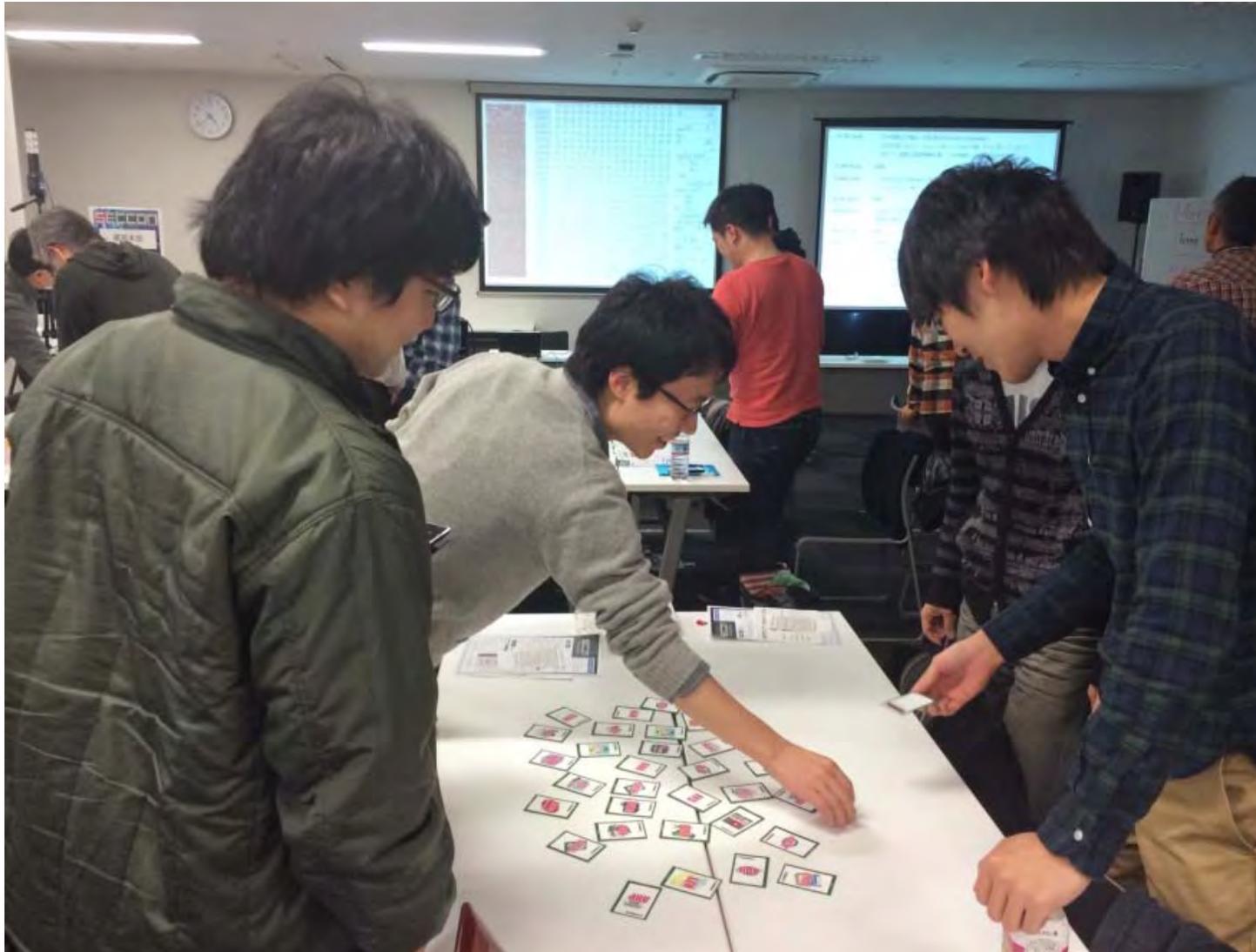
							1
			2	74	a		
3	b						
			c		4	8B	00
d							
				5		e	

バイナリかるた (目grep対決)



	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F	0123456789ABCDEF
000000	50	4B	03	04	0A	00	00	00-00	00	01	AC	52	41	00	00		PK.....RA..
000010	00	00	00	00	00	00	00	00-00	00	06	00	1C	00	63	72	cr
000020	6F	73	73	2F	55	54	09	00-03	C2	F6	7F	50	7F	14	12		oss/UT.....P...
000030	52	75	78	0B	00	01	04	E9-03	00	00	04	E9	03	00	00		Rux.....
000040	50	4B	03	04	0A	00	00	00-00	00	A1	AC	52	41	00	00		PK.....RA..
000050	00	00	00	00	00	00	00	00-00	00	0C	00	1C	00	63	72	cr
000060	6F	73	73	2F	62	75	69	6C-64	2F	55	54	09	00	03	ED		oss/build/UT....
000070	F7	7F	50	7F	14	12	52	75-78	0B	00	01	04	E9	03	00		..P...Rux.....
000080	00	04	E9	03	00	00	50	4B-03	04	0A	00	00	00	00	00	PK.....
000090	A1	AC	52	41	00	00	00	00-00	00	00	00	00	00	00	00		..RA.....
0000A0	15	00	1C	00	63	72	6F	73-73	2F	62	75	69	6C	64	2F	cross/build/
0000B0	62	69	6E	75	74	69	6C	73-2F	55	54	09	00	03	ED	F7		binutils/UT....
0000C0	7F	50	7F	14	12	52	75	78-0B	00	01	04	E9	03	00	00		.P...Rux.....
0000D0	04	E9	03	00	00	50	4B	03-04	14	00	00	00	08	00	A1	PK.....
0000E0	AC	52	41	D2	AC	29	31	68-00	00	00	9A	00	00	00	1F		.RA..)1h.....
0000F0	00	1C	00	63	72	6F	73	73-2F	62	75	69	6C	64	2F	62		...cross/build/b
000100	69	6E	75	74	69	6C	73	2F-69	6E	73	74	61	6C	6C	2E		inutils/install.
000110	73	68	55	54	09	00	03	ED-F7	7F	50	6B	14	12	52	75		shUT.....Pk..Ru
000120	78	0B	00	01	04	E9	03	00-00	04	E9	03	00	00	35	8C		x.....5.
000130	49	12	84	20	0C	45	F7	39-45	44	D7	E1	00	96	87	A1		I...E.9ED.....
000140	05	35	25	26	16	A4	EF	EF-FC	77	7F	7A	6D	E3	7F	2C		.5%&.....w.zm...
000150	BE	2E	00	84	E4	2D	94	39-59	A5	CB	9B	6A	1E	DC	D9	-9Y...j...
000160	FE	8D	73	75	A0	7B	2A	C1-58	65	70	2C	D5	42	CE	EE		..su. {*.Xep,.B..
000170	FA	90	1F	55	26	9E	EF	CF-A4	05	1F	06	B2	60	F7	E2		...U&.....`
000180	7A	8C	0A	78	6A	8C	5F	76-DB	6E	0B	6B	C2	17	F6	0D		z..xj._v.n.k....
000190	88	20	AA	24	38	00	50	4B-03	04	14	00	00	00	08	00		..\$.PK.....

バイナリかるたワークショップ

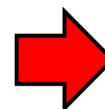


コンテスト出場者のその後

■ SECCON出場者 ⇒ 協賛企業に新卒採用



2012年2月 CTF 福岡大会(九州工業大学)



2013年4月 C社 新卒採用

マレーシアのCTF世界大会で優勝した日本人技術者を協賛企業A社が自社のセキュリティ向上の目的のため採用した過去の事例もあり (社会人 2012年)

日本のセキュリティのこれから

- 攻撃を受けた後に初めて対応を考える
 - では、もう遅い？
 - 「情報」は1度漏れてしまうと取り返せない性質
- CTF は攻防戦を含んだ実践的な体験場
 - 「攻撃」と「防御」と「監視」のスキルが必要
 - どのようなシチュエーションで攻撃されるのか
 - 具体的な攻撃の被害の影響について知る
 - OJTで経験を積むのは難しい（インシデント発生）
- 攻撃者よりも「先回り」して防御の対策をしたい（攻撃を知らなければ防御できない）

スポーツの世界をみると・・・

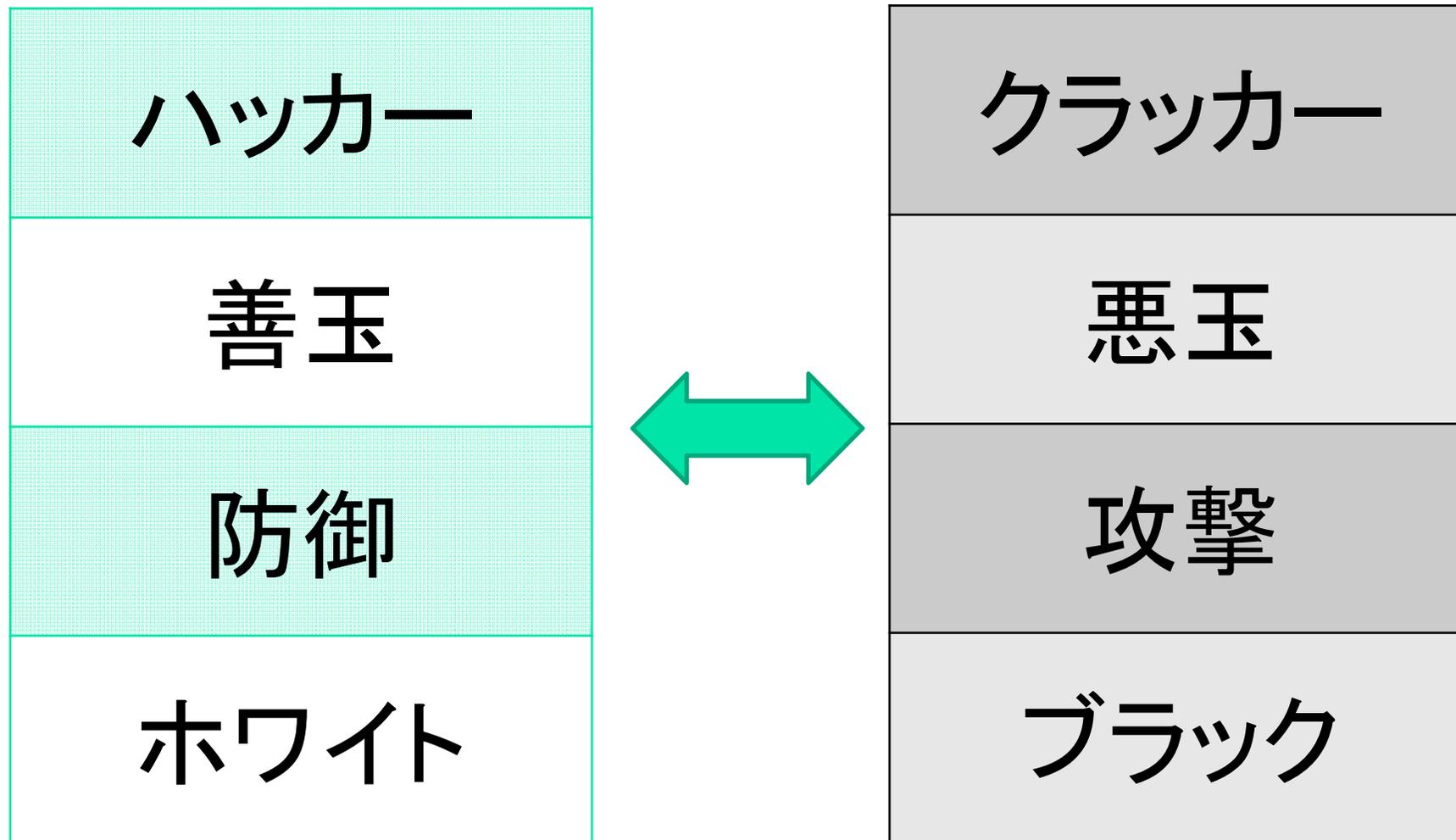
- 野球&サッカーでは世界に通じる優秀な人材を輩出
 - 甲子園予選やアマチュアスポーツ大会など多くの地方大会が盛んに行われている
 - 全国の学校に野球グラウンド, サッカーコートがある
- 工業/電子系で見ると、日本国内には…
 - **技能五輪、高専ロボコン、各種プロコン等**
 - 競技プログラミングの土壌は既に根付いている
- **セキュリティはまだこれから**
 - 土壌を整備する段階
 - 各学校にクラブ活動ができて欲しい
 - 例：セキュリティ部活動、ハッカーサークル…

技能五輪(技能オリンピック)40種目

- 決められた時間内に正確に工作する競技
 - 熟練技術師のワザを若者に継承する場にも
 - 技術の空洞化を防ぐ（スキルトランスファー）



ハッキング技術の使い方



ハッカーの力を正しい道に導く



触媒としてのセキュリティコンテスト

- ITインフラの動作原理・原則を学ぶ
 - コンピュータ・インターネットの仕組み
 - トラブルが起きた時の問題解決能力
- ハッカーになるためには？
 - 人から一々教えられてなるものではない
 - 歴史を知り先代の技術を会得し、越える
 - 自分でセキュリティを学ぶ場を提供する
 - セキュリティコンテスト SECCON の実施
 - チーム結成による地域コミュニティ促進